

■ 現在（採用後）の仕事内容

私は令和5年4月、甲府地方検察庁に採用され、捜査公判部門事件管理担当に配属された後、令和6年4月からは検察官立会として働いています。

事件管理担当では、弁護人の証拠閲覧や接見の対応、公判請求及び判決時の記録等のチェック、当庁で依頼した通訳人の対応などの業務を主に行いました。

現在の業務は、立会事務官として、検察官の捜査・公判上の事務手続を行ったり、ときには配点された事件について、検察官とともに補充捜査や立証上の問題点について検討するなどしています。

立会事務官として働く中、新しいことの連続で、常に刺激を受けながら仕事をしており、また付いている検察官は頭の回転が速く、仕事に対してとても熱心なことから、日々学ぶことが多く、興味の尽きることがない仕事だと思っています。

■ 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

採用前と、採用後の現在の感想とでは、大きく異なったというのが正直なところです。

具体的には、採用前には、「検察庁」と聞くと犯罪を扱っている役所なので、常に堅い雰囲気で少し怖いところなんだろうなと思っていましたが、実際にこの職場で働いてみると、先輩や上司は気さくな方が多く、何か仕事で困ったことがあってもすぐに聞ける環境にあると思います。

とはいえ、事件の被害者の対応等とてもセンシティブな業務もあることから、仕事には真摯に取り組む、雑談等気を張らない場面ではリラックスするなどメリハリのある職場だと思っています。

■ 採用面接などの体験談

私は、学生時代に検察庁の説明会を通じて検察事務官の方とお話したことや、裁判傍聴の経験から検察庁を受けよう決めました。

実際の面接では、志望動機と学生時代に頑張ったことを聞かれ、それぞれ深掘りされました。

私は、検察庁の採用面接を受けるまで、民間会社や他省庁の面接を幾度となくこなしていたので、当日はさほど緊張せずに面接を受けられました。

■ 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

検察庁の実態は外部からは中々わからず、受験者の皆様はインターネットの情報や採用パンフレットなどを通じて、当庁に対して様々な印象を持っておられるかと思います。

実際私も受験期の始めは、そういった媒体でしか情報を持っておらず、検察庁に対

して中々興味を抱くことができませんでした。

しかし、検察庁の説明会に参加したときに、実際にその職場で働いている人の生の声を聞き、業務内容や職場の雰囲気を知ることによってこの職場で働きたいと思うようになりました。

検察庁に対して、少しでも興味が沸いたら説明会などを通じて、実際に職員と話し、そこで検察庁の魅力などに気付いてもらえれば幸いです。

令和5年4月採用 大卒程度試験 20代 男性職員

■ 現在（採用後）の仕事内容

私は、令和5年4月に採用され、1年間検務部門の犯歴担当に所属した後、今年4月からは、証拠品担当に所属しています。

犯歴担当においては、警察や市町村からの前科の照会に対する回答や前科の情報の管理に関する業務に従事していました。

今年度からは検務部門内の証拠品担当で、証拠品の受け入れやその処分に関する業務に従事しています。

いずれの係においても公判を終えた記録や警察から送られてきた記録を見る機会が多くあり、事件の種類や作成される書類の多さに、圧倒されることも少なくありません。

検務部門と一口にいても、業務の内容や雰囲気は係によって様々で、日々学ぶことが多い毎日です。

■ 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

採用される前は、仕事についていけるか、わからない点をすぐに解決できるか、不安に感じていましたが、実際は、上司や先輩に、質問や相談がしやすい雰囲気です。

所属する検務官室には、毎日、警察官や刑務所、裁判所の職員、弁護士会の方等が訪問されます。そのため、日々活気にあふれ、検察庁の業務の多くは、多くの機関との関わりの中で、進められていることを実感します。採用初年度であった昨年には、研修や他の係の応援を通して、自分の所属する係以外の事務を経験することができ、検察庁で必要とされる業務に対する理解を深めることができました。

■ 採用面接などの体験談

検察庁での面接ということで、かなり身構えてしまっていたのですが、和やかな雰囲気で面接が進んでいきました。これまでに経験してきたことや、自分自身がどのような人なのかを丁寧に聞いていただき、安心して、落ち着いて面接に臨むことができました。

面接時には、面接室がとても広く、面接官と自分自身との距離がかなりあるように感じましたが、後日、同じ部屋に入ると、コンパクトな部屋であることがわかりました。緊張や不安から面接官と自分自身との距離が遠いように感じて、意外と距離は

近かったのだと思います。

■ 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

公務員試験は、最終的な結果が出るまでの期間が長く、特に、業務説明会や官庁訪問の時期は、暑く、日程が入り組んで大変な時期かと思います。しかし、色々な官庁の仕事や人を知ることができる機会なので、興味のあるところがあれば、自信を持って積極的に説明会に参加していただきたいです。官庁はたくさんあり、検察庁も小規模な庁から大規模な庁まで様々です。訪問先について調べていく中で何か通ずるものが検察庁、その中でも甲府地検にあれば、実際に説明会や官庁訪問に参加して、雰囲気を感じ取っていただけたらうれしいです。

令和5年4月採用 大卒程度試験 20代 女性職員

■ 現在（採用後）の仕事内容

私は令和5年4月に甲府地方検察庁に採用され、企画調査課情報システム管理係として1年間勤務し、令和6年4月から捜査公判部門事件管理担当に所属しています。

情報システム管理係では、当庁で保有している全てのパソコンの管理、県内で起きた事件の受理・処理件数の計上作業をしていました。

事件管理担当では、裁判で使用する記録の点検、弁護士の記録閲覧の対応、被疑者が外国人の場合の通訳の手配・対応を行っています。この他にも広範囲の事務を行いますが、捜査公判事務を円滑に遂行するための役割を担っているため、ニュース等で報道される事件の顛末を知る機会も多くあり、やりがいのある部署だと感じています。

1年目と2年目で仕事内容が大きく変わったため、2年目の最初は大変でしたが、わからないことは上司に教えてもらいながら業務を覚えている最中です。

■ 甲府地検に入庁した理由

私は元々検察庁が第一志望だったわけではありませんでした。検察庁の業務内容を知るために説明会に出席したところ、立会事務官や法律に興味を持つようになり、入庁したいと思うようになりました。

■ 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

公務員という仕事に対して、お堅いイメージしか持っていなかったのですが、職場はとても和やかな雰囲気で、わからないことや困ったことがあると上司がとても丁寧に教えてくださるので安心して仕事ができると感じています。

■ 採用面接などの体験談

面接は自分のことを知ってもらえる場なので、それまで自分がしてきた経験やそこ

から感じたことを自信をもって伝えることができれば大丈夫だと思います。

■ 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

国家公務員を希望している方の中には、すでに他の官庁で仕事をしたいと考えている人もいます。検察庁の仕事は想像が難しいと思いますが、知らなければ選択肢は増えないので、業務説明会やホームページ等を活用して情報を集め、ぜひ官庁訪問に来てください。みなさんが心から働きたいと思える場所で仕事ができることを祈っています。

令和5年4月採用 高卒程度試験 20代 男性職員

■ 現在（採用後）の仕事内容

私は、令和5年4月に甲府地方検察庁に採用され、会計課用度係を経験して、令和6年度は捜査公判部門事件管理担当に所属しています。

会計課では、主に物品の購入・管理、役務の契約、庁舎等施設の保全、支払業務などを行っていました。検察庁を運営していくためには必要不可欠な業務であり、官公庁を支えることの難しさなどを経験できました。

事件管理担当では、公判請求に係る起訴状の点検、公判の把握、上訴事件の管理等を行っています。また、検察官・立会事務官のバックアップや裁判所をはじめ弁護士、通訳人と仕事をするため、事件処理における重要な業務を担っています。そのため、様々な事件に関わることができ、非常にやりがいを感じることができます。

■ 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

甲府地検は、優しい方が多く違う部署の方でも気軽に話しかけてくれるので、とても楽しく仕事をすることができます。また、全国的にみても小規模な庁であるが故に、アットホームな職場とも言えます。しかし、仕事上、被疑者・被告人と向き合い、被害者に寄り添うことが必要となるため執務室等で緊張感が漂うこともあります。そのため、仕事におけるオンとオフの切り替えがしっかりしています。

■ 採用面接などの体験談

私は、官庁訪問初日に面接をしていただきました。

採用面接は、他の試験等で経験していましたが、第一志望ということもあり、とても緊張していたのを覚えています。しかし、面接官はとても優しく、リラックスして面接に臨むことができました。面接では、検察庁特有の事についての言及などはなく、他の採用面接と大きな違いはないと思いますが、入りたい部署やどのようなことに興味があるかなどは、話せると良いと思います。

■ 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

国家公務員は、多岐にわたる職種があります。

官庁訪問前には業務説明会、座談会等があるため、なるべく参加して自分のやりたい職種を探してください。私も検察庁という存在をあまり知りませんでした。業務説明会に参加して興味、関心が生まれました。

犯罪、捜査活動に少しでも興味がある方は業務説明会、座談会でお待ちしております。